



レスター大学臨床実習報告

新潟大学医学科6年中村萌衣

留学したかった理由

- イギリスでの医療や実習が日本とどのように違うのか見たかった
- 卒業して医師となったら研究留学はできても臨床留学できる機会は少ない
- 海外での女医さんの生活を知りたかった
- 現地の人と交流して英語の能力を高めたかった

•

•

準備

- 4年生～5年生
英語の勉強を問題集や医療単語集を使って少しずつやっていました。MEET(毎週月曜昼休み)へ参加
- 5年生10月
TOEIC 受験
選考の準備 (英語での面接に向け練習、及び履歴書や志望動機の作成)
- 5年生12月
選考
- 5年生3月
実習決定→医療面接の練習、航空券の取得など…

実習中

- 服装：白衣は全く着ませんでした。
靴は革靴、スニーカーなど。
'bare below the elbows' policy
- 移動：基本的にバス。
「Leicester zone1」という1ヶ月レスター市内
乗り放題の券を購入すれば街中にも行けます。
- ご飯：スーパーで購入/テイクアウト/外食





実習場所となった Two Steeples Medical Centre



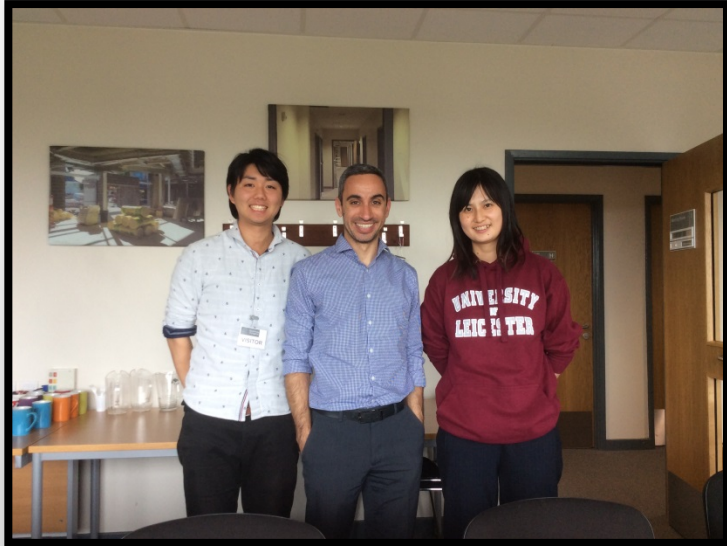
Primary care course

- 4月25日～6月10日まで約7週間
- 月曜、火曜はそれぞれのsurgeryで指導を受ける
指導者はGP(家庭医)、看護師、HCA、助産師、薬剤師と様々
 - * 外来(初診、再診、COPD、糖尿病)見学
 - * オンコール(電話相談)見学
 - * 訪問診療に同行
 - * 刑務所診療に同行

Primary care course

- 水曜～金曜は一緒に行った2人+レスター大の3年生4人と
 - * GPによるミニレクチャー
(診察の進め方や診断までのアプローチ方法、診察でよくみるcommon disease)
 - * あらかじめ出されたテーマに合った症例を毎週一例、
実習中に経験したもののの中からピックアップして各々発表
 - * ビデオレビュー
(レスター大学の学生が自分の問診をビデオで撮って共有)
 - * 隔週でプロの模擬患者さん相手に問診を行い、
お互いに良い点、改善点を言い合う

Primary care course



行って良かったこと、大変だったこと

- 実習の内容が直前まで分からなかった
- マッチングの準備を早めにしておく必要がある
- 配慮してくれるが、レスター大学の学生と同じような実習内容

英会話や医療面接の練習は絶対役に立ちます！

- 様々な民族、宗教、体型の患者さんを見ることができた
- 女性の先生方が多く(1:1)家庭と両立していた
- 看護師、HCAなどの他業種の人とのコミュニケーションが大変密接で、仕事も分業化されていた
- 日本の医療を客観的な視点で見て、考え直す機会となった
- 日本の事をイギリス人に伝える中で日本の良さを再確認できた

様々な人々との交流



このような貴重な機会をいただき、
お世話になった全ての方々に心より感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました